

草津白根山における全磁力観測

Total magnetic field observation at Kusatsu-shinare volcano

新井 聡郎 [1]

Toshiro Arai[1]

[1] 気象庁地磁気観測所

[1] Magnetic Observatory, JMA

気象庁地磁気観測所では草津白根山の火山活動監視を目的として全磁力繰り返し観測を1976年から、3観測点における全磁力連続観測を1991年頃から実施している。この間、1989～1991年の地震多発時において湯釜の北側で全磁力差の増加、南側で減少を示す観測結果を得、これらの変化は湯釜火口直下で熱消磁を仮定した場合に良く説明できること及び熱消磁域が火山性地震の震源域と概ね一致しているといった成果を得ることができた。

ここでは、草津白根山における全磁力観測の概要について紹介するとともに、主に2000年以降の観測結果について述べる。